

みなみ

R5 竜王南小学校便り

No. 11

2024.1.15 発行
甲斐市立竜王南小学校



学校教育目標

「楽しい学校（楽校）の創造」

－ やる気 こん気 げん気 －

令和6年を迎えました！



新年の校舎3階からの富士

2024年、令和6年が始まりました。皆様におかれましても、新たな気持ちで年明けを迎えられたことと思います。今年も子供たちにとって実りある一年になるよう願うばかりです。

さて、その新年も早々の元日に石川県でM7.6の大きな地震が発生しました。行方不明者や死傷者も多く、未だに避難生活をしている方々が寒さと度重なる地震に不安や恐怖を覚えていらっしゃることでしょう。また、日本だけでなく世界に目を向けると、当たり前な日常が脅かされている地域が多々あり、こうして新たな年を、また、新たな学びの日々を迎えられることが何と有り難いことかと、強く感じています。

さて、年は改まりましたが、学校は年度の途中であり、3学期のスタートです。3学期の授業日数は52日（6年生は49日）と、とても短い学期です。3学期はそれぞれの学年の総まとめの学期です。特に6年生は、中学校に進学する前の最後の学期になります。勉強や運動を精一杯頑張つて、3学期が終わるときに悔いの残らないよう、しっかり自分を育てて欲しいと思います。竜王南小学校教職員一同、3学期も一人一人の子供をしっかり見つめ、集団としてもしっかり成長するよう最善を尽くしていく所存であります。今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

大谷翔平選手からのグローブ

既にニュース等で話題になっていた大谷翔平選手からのグローブが本校にも年末に届きました。そこで、1月9日（火）の始業式終了後、このグローブを子供たちに披露し、6年生が校庭に出てキャッチボールをし早速使いました。

今後1年生から6年生まで、まず手に触れる機会を作るようにします。その後、体育の授業等で活用していきます。

大谷翔平選手からのメッセージとともに子供たちの心に届くプレゼントになったのではないのでしょうか。



あいさつ運動

「あいさつは心を開く魔法の言葉」という言葉にもあるように、あいさつはしてもされても気持ちのよいものです。本校でも児童会が中心になり自分からできるあいさつを目指そうと折に触れてあいさつ運動をしています。

11月には竜王中学校の生徒会の皆さんにも本校でのあいさつ運動に協力していただきました。本校の卒業生が中学生として、あいさつをしてくれる光景はなんとも微笑ましいものでした。最近では来校したお客様からも「気持ちのよいあいさつをよくしてくれますね。」とお褒めの言葉をいただくことも多いです。

自然に自分からあいさつできることは社会で生きていく上で非常に大切なことだと考えています。これからも気持ちを通わせるあいさつができることを目指します。



外部との交流による授業

新型コロナウイルス感染症が5類になってからコロナ禍以前の学びに少しでも近づけられるようにしています。その中で、外部との交流による授業が増えているのはその大きな変化です。以前から継続しているものも含めて、各学年の授業の一部を紹介します。

1年生

【幼稚園保育園との交流会】

入学前の園児を招いて秋の校外学習で拾ってきたドングリなどで遊びました。



2年生

【地域のお店探検】

地域の商店や施設を各グループで訪問し、その先々の皆さんのお話を聞きました。



3年生

【地域のスーパー見学】

社会科の学習の一環で地域のスーパーの見学をしました。日頃見られない場所も見せていただきました。



4年生

【和紙作り、篆刻体験】

4年生の郷土学習の一環で、山梨県の伝統産業を学校で体験しています。



5年生

【人権学習】

身近な生活の中での人権とは何だろうと甲斐市人権擁護委員さんから人権について学んでいます。



6年生

【高齢者疑似体験、認知症サポーター講座】

どちらも高齢者について考える機会として甲斐市の講師を招いて学習しています。

